

立憲民主・無所属千葉市議会議員団

議会だより 2024年 春号

私たちは市民の皆様の声をかたちにします！
お近くの議員または立憲民主・無所属千葉市議会議員団へお気軽にお寄せください。
TEL：043-245-5482
FAX：043-245-5566
〒260-8722 千葉市中央区千葉港 1-1 千葉市議会事務局内
ホームページ <http://miraiminshu.com/>
E-mail: chiba@miraiminshu.com



「立憲民主・無所属千葉市議会議員団」は、立憲民主党所属議員8名と無所属議員3名の計11名で、議会では第2会派を形成、副議長を選出、神谷市長与党会派という立ち位置です。地域に密着し、対話を通じ、「市民の切実な要望」を重点事項として絞り込み、神谷市長へ新年度予算編成時に要望し、予算化に取り組みました。今後も市長を与党として支え、財政健全化に向けた取り組みを堅持しつつ、未来への投資を適切に行い、都市の魅力をもっと磨き上げるとともに、「誰もが住みたくなる千葉市」を目指し、会派一丸となって取り組んでまいります。

福祉まるごとサポートセンターの開設

様々な要因が重なり合った世帯のお困りごとに対して、まるごと受け止めて支援していくため、新たにセンターを設けることとし、福祉まるごとサポートセンターを開設しました。年齢や障害の有無などに関わらず福祉の相談に対応します。市民の方が抱える問題を整理し、必要に応じて専門機関と連携しながら解決に向けたサポートします。昨年10月に相談窓口が開設され、令和6年度には、家庭への訪問相談も開始します。



地域公共交通支援の推進



市内でもバス路線の廃止・減便が発生していることから、コミュニティバスの運行、デマンド交通・グリーンスローモビリティの導入、バス・タクシー運転手確保策などの取り組みを進め、市民の足を守ります。

【大宮台コミュニティバス運行】

令和6年3月31日の民間路線バスの廃止により、新たに発生する公共交通不便地域を解消するため、新たにコミュニティバスについて運行委託をします。

【グリーンスローモビリティ導入調査】

地域が主体となって運行する持続可能な生活交通のモデルを確立するため、本格的な運行に向けた取り組みを推進します（若葉区：都賀の台・桜木地区）。

子ども医療費助成の拡充

これまで求め続けてきた、子ども医療費助成の拡充が令和6年8月1日より実現します。子どもの医療費助成は市町村で差があり、首都圏で18歳まで拡大した政令指定都市では初となります。

- 助成対象を、高校3年生相当年齢まで拡大！
- 小学校4年生以上の通院にかかる保護者負担額を、1回500円から300円に引き下げ！

首都圏政令指定都市初！高校生まで対象に！

改正前 300円(6回目以降無料) (単位:日・回あたり)

助成対象	0歳～小学3年生	小学4年生～中学3年生
入院	300円(11日目以降無料)	300円(11日目以降無料)
通院	300円(6回目以降無料)	500円(6回目以降無料)
保険調剤	無料	無料

改正後

助成対象	0歳～ 高校3年生相当年齢	
入院	300円(11日目以降無料)	
通院	300円 (6回目以降無料)	
保険調剤	無料	

※上限額は月毎・医療機関毎
※第3子以降は上記に関わらず無料
※市民税所得割非課税世帯は保護者負担なし

アフタースクールの拡充



- 小学生に、放課後を安全・安心に過ごせる居場所と多様な体験・活動の機会を提供します。
- アフタースクールの全校導入を目指す！
- ・令和6年度 10校拡大 34校→44校 ・令和7年度 10校拡大に向けた開設準備
- 医療的ケア体制確保・・・医療的ケア児を受け入れるため、看護師派遣など体制強化へ
- 訪問相談員配置・・・特別な支援が必要な児童が安全かつ安心して利用できるよう、施設スタッフに対し相談・助言などの支援を行う相談員を1人配置する。

京葉線の快速及び通勤快速のダイヤ改正の再考に関する要望書を神谷市長へ提出

臨時議会にて可決となった「ダイヤ改正における鉄道路線の運行本数の維持や利便性確保に向けた国の積極的関与を求める意見書」を国土交通省へ議長・副議長が手交しました。

令和6年度の会派要望により予算化された事業

予算化された事業をピックアップ



災害対応力の更なる強化へ



- 総合防災情報システム本稼働により、暴風雨・地震等の情報を素早く配信、災害発生時には瞬時に情報を収集等、本市の災害対応力が強化された。
- 防災アセスメント調査を実施する。

体育館冷暖房設備の整備



- 教育環境の整備及び防災機能強化のため、体育館の冷暖房設備を整備する。
- 実施設計（中学校28校、高校1校、中等教育1校）

動物愛護施策の充実・推進



- 地域における飼い主のいない猫を減らすため、新たな飼い主への譲渡、「不妊去勢手術事業」を町内自治会などが活用できるように制度改善を進め、「(仮称)動物愛護センター」整備に向けた基本計画を策定する。

空家対策の強化



- 急増する空家問題への対応として、条例改正を踏まえ、区役所等に寄せられる「管理不全空家・空地」への初期対応策の強化に取り組む。

千葉公園・稲毛海浜公園のリニューアル推進



- 民間活力を導入し、インフラ改修・新たな施設整備などのリニューアルを進めている。千葉公園では、周辺整備とともに「賑わいエリア」が5月頃オープンへ！

公園の遊具・トイレ等の改修促進



- 公園の遊具改修やバリアフリー化を進め、トイレは洋式化を促進し、清掃の回数も増やし、清潔で快適な公園を目指す。また、障がいの有無にかかわらず、だれもが一緒に遊べる広場の整備に取り組む。

雨水対策・浸水対策の推進



- 大雨・豪雨の対応として、浸水リスクの高い地区への雨水管渠・貯留槽などの対策を推進、また、近年浸水被害を受けた地区への浸水対策を進める。

あなたが使える制度お知らせサービス拡充



- 各種手当や健康診査など行政サービスについてお知らせするサービス、通知制度を拡充する。

町内自治会 DX化モデル事業



- 地域活動の活性化・効率化につながるよう、町内自治会活動のデジタル化を推進する。

アスリートの育成支援



- 世界に挑戦する千葉市ゆかりのトップアスリートへの支援や、次世代アスリートへの支援を新たに創設する。

保育の質の確保



- 幼児教育・保育人材の資質向上、離職防止のための研修拠点、相談拠点機能を担う「幼児教育・保育人材支援センター」を開設。
- 公立保育所における3歳以上児への主食提供（27ヶ所予定）。

不登校支援の拡充



- フリースクール運営・ステップルームティーチャー活用・スクールカウンセラー活用・ライトポートカウンセラー活用・家庭訪問カウンセラーの活用、各事業を拡充

発達障がい児支援



- 早期発見や早期支援を行う体制整備として、こども発達相談室開設する（令和6年11月予定）。

その他、予算化された主な事業

新規

- 発達障害児の理解促進 ●ごみ減量・資源化推進
- 犯罪被害者等見舞金支給、日常生活の支援
- 教員不足解消に向けた緊急対策事業

拡充

- 避難所運営委員会の活動支援（3万→5万）
- 町内自治会 DX化モデル事業 ●オンライン申請
- 防犯カメラ ●繁華街客引き対策 ●パラスポーツの推進
- フレイル予防（介護予防） ●民生委員協力員の増員
- 在宅医療拠点整備 ●子ども部屋のWi-Fi環境整備
- 子ども家庭総合支援拠点の拡充（3区→6区設置）
- 子育て短期支援（ショートステイ）拡充
- 産後ケア一部訪問型にて期間を1歳まで延長
- エンゼルヘルパー派遣事業 ●地域クラブ活動推進
- 小学校の水泳学習における民間スイミングスクール拡充



副幹事長

4期 中央区 亀井 たくま

3期

中央区 三井 みわこ

8期

花見川区 さんぺい 輝枝

4期

花見川区 だんぎ 和彦

幹事長

4期 稲毛区 かわい 隆史

会計

3期 稲毛区 渡辺 忍

2期

稲毛区 小坂 さとみ

副議長

4期 若葉区 麻生 のりお

5期

緑区 白鳥 誠

1期

緑区 岡崎 純子

副幹事長

4期 美浜区 田畑 直子